

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念「私たちはお客様の満足を通じて自らの幸福を実現します。」毎朝の全社員参加のオンライン朝礼にて理念・目標設定を説明・共有している。 ・経営理念等を記載した名刺サイズのカードを全社員に配布し、常時携帯をしている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・業務運営方針にて、法令遵守を規定し、マニュアルを制定してその重要性を全社員に対して発信している。 ・コンプライアンス研修を継続実施し、全社員への啓蒙を進めている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な取引(仕入先や取引先への不当な圧力等がない)の重要性を説明し、全社員への啓蒙を進めている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		<担当:総務人事部> ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関して担当し対応している。 <担当:CI経営推進部・社長室> ・CSR・メセナを担当し対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許・商標・著作権等の知的財産の侵害をしないよう、社内規定を設け、総務人事部にて順守確認を行っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の漏洩に関する勉強会等を行い、具体的な対応策を決定し徹底している。SNS等での投稿についても注意している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・CS推進部にてお客様の声(アンケート・お申し出等)をいただき、取引先等と連携し対話の取組みを進めている。 ・経済産業省が創設した「おもてなし規格認証」について2023年1月に「金認証」の登録を受けた。(2026年1月末まで有効)															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・当社グループの協力会社を「共栄会」として組織化し、連絡会議や部会などで共有し取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・熊本地震とコロナ対応の経験をふまえBCPを策定しており、年に2回避難訓練を実施している。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・コンサルティング会社の指導を受け、ジュニアボードなどを開催し後継者の指導育成に取り組んでいる。 ・2022年5月から持株会社制度を実施、2023年5月に福岡支社を分社化、2024年5月に代表取締役社長が代表取締役会長に、専務が代表取締役社長に就任した。 ・2024年5月今後3年間の中期経営計画書を作成し、全社員に共有している。								8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・フランチャイズ方式で運営している家具・インテリアショップACTUS熊本店で、フェアトレード商品を販売している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・業務運営方針にて、差別はハラスメントの禁止を定めており、研修や啓蒙を継続して行っている。 ・いつでも安心して相談できるように、総務人事部に相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生委員会を実施している。議事録を社内掲示板に掲載し徹底している。 ・メンタルヘルスに関する心理的安全性の高い職場の実現のため、医療機関との連携や管理職への研修啓蒙活動を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・契約社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理・業務効率化・生産性の向上による、労働時間の短縮や働き方改革の取組み、有給休暇の取得に関して、強く推奨している。 ・これらの取組みにより、従業員の家事や育児、ボランティア活動への積極的な参加が進んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・良好な職場環境の醸成や社員の能力開発等ができる人材育成システムを実装し活用している。 ・コンサルティング会社による人事評価制度の研修なども行っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザやコロナウイルスの予防接種を職場で行っている。 ・経済産業省が主催する「健康経営優良法人・プライト500」に2022年から2024年まで選定された。今後も継続的に選定されるように全社一丸となって取り組んでいる。			3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格などに人種・性別などの差別はなく、環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。		●	・オンラインやリモート勤務のシステムを導入し、在宅勤務等、新しい生活様式への対応を実施している。 ・毎営業日、全体朝礼をオンラインで実施している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX推進部を組織し、ICTを利用した受発注システムのデジタル化や経理業務のオンライン化等、生産性向上や新しいビジネスモデルの構築などに取り組んでいる。 ・DX推進部が社内のITスキル向上のため定期的に研修会を企画し実施している。 ・社内でのITスキルの認定制度を創設、年1回認定試験を実施しS級・上級・中級・初級の格付を行い、S級と上級には手当を支給している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・新築やリフォーム部門で各種法令を遵守し適切な廃棄物処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・肥後銀行が開発したCO2削減アプリ「炭削くん」を活用しエネルギー使用量を算出し、社屋に太陽光発電システムを設置しオフィスの節電に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・肥後銀行が開発したCO2削減アプリ「炭削くん」を活用し、温室効果ガスの使用量を算出し、社屋に太陽光発電システムを設置し温室効果ガスの削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・住宅新築現場、大型太陽光発電事業、展示場、駐車場などの除草について、除草剤を使用せず草刈りにて周辺環境への悪影響を防止している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内のペーパーレスへの取組みや再生紙の使用など、ごみ分別をしてごみの削減や再利用を実施している。 ・社員食堂で発生する食べ残しや廃油についても専用回収業者を利用しリサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水の適切処理」等を実施している。 ・お客様には、配管の錆やスケールを取り除く「水処理装置」をお薦めしている。この装置は長期間使用可能でメンテナンスは不要でビルや工場のクーリングタワーの保全にも効果を発揮している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・新築住宅やリフォームを計画されているお客様に対して、「グリーン住宅ポイント制度」のご利用をお勧めしている。 ・再生紙やリサイクル製品の購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社員食堂において、規格外や未利用の食品を使用している。 ・食堂の使用済み食用油は、提携業者に依頼し廃油石鹸等に再利用されている。 ・当日残り食材がある場合、社員へ配布している。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・オフィスの壁面緑化やオフィス内の空間に観葉植物を設置するなど緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・社屋屋根に太陽光発電システムを設置しオフィスの節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・グループ内に森林管理業を行う(株)シアーズフォレストを設立し、当社の社員が兼務して植林や涵養林の維持管理活動に取り組んでいる。 ・県産材の使用向上に取り組んでいる。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・グループ内に森林管理業を行う(株)シアーズフォレストを設立し、当社の社員が兼務して植林や涵養林の維持管理活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減に取り組んでいる。 ・毎営業日の始業時10分間、全社員で清掃活動をしている。 ・ごみの分別を徹底し適切に廃棄処理している。													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・電車やバスなどの公共交通機関の利用を促進している。										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・CS推進部がお引き渡しする住宅の質を向上させるためアンケートなどを実施し、お客様の声を聴き、関係者で共有し更なる品質向上に取り組んでいる。 ・アフター課が定期的に訪問し定期点検を行っている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・注文住宅のお客様には、段差の解消や手すりの設置などバリアフリーデザインの住宅建築をご提案している。 ・「長期優良住宅」の標準化を目指し、新築住宅を希望されるお客様に「長期優良住宅」を提案している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・住宅展示場のモデルハウスで、県産材使用量を向上させ県の林業支援に取り組んでいる。 ・新築注文住宅をご希望のお客様には、熊本県産の柱材やい草の量を提案している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・住宅展示場のモデルハウスで、天井や床、壁等、内外装の木質化を推進している。 ・新築注文住宅をご希望のお客様には、「長期優良住宅」をご提案し木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・木材を使用する会社の責務として違法伐採から森林を守るため「合法木材」の使用を徹底している。 ・持続的・地域循環型林業の確立の為、県産材使用比率を向上し、熊本県の林業課題解決に貢献するようグループ全体で取り組んでいる。 ・当社が販売する住宅は、2020年から適合義務化された「省エネ基準」の「相当隙間面積(C値)」の基準値を大幅にクリアする新しい時代の省エネ・エコ住宅である。引き続き、シアーズホームグループ全体で住宅性能の向上に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域貢献の一環として、地域のスポーツクラブのスポンサーとなり、スポーツイベント活動等をサポートしている。 ・2016年4月、熊本市市民会館のネーミングライツ企業に採択され、2020年には契約を更新した。その収入は、芸術文化の鑑賞機会拡大や文化創造活動の充実に活用されている。 ・スペシャルオリンピックス日本・熊本の活動に協賛し毎年協賛金を支出し、会長が理事として活動に参加している。 ・公益財団法人オイスカに協賛し、会長が西日本支部の理事、オイスカ熊本県推進協議会の会長として活動に参加している。 ・2023年8月に熊本県が推進する「こども図書館」事業に協賛し寄附金を贈呈した。 ・野球独立リーグに加盟している火の国サラマnderズのスポンサーとして活動をサポートして。る。 ・096k熊本歌劇団のスポンサーとして活動をサポートしている。 ・ロアッソ熊本・熊本ヴォルターズ・フォレストリヴズ等の活動に協賛している。 ・地域に根ざした企業情報誌でも地域を代表する企業として多数掲載されている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本地震とコロナ対応の経験をふまえBCPを策定しており、年に2回避難訓練を実施している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・「熊本いいくに会」にグループ各社が参加し、地域の防犯・清掃活動等を定期的に開催し社員が参加している。 ・地域消防団の活動に複数名の社員が参加している。 ・本社ショールームに「AED」を設置し万一の場合に備えている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・(株)シアーズホームが熊本県SDGs登録事業者の第1期に認定され、これをきっかけに、グループ会社の(株)リホーム熊本が第2期に認定された。 ・第3期として、持株会社の(株)シアーズホームグループHD、新築住宅販売の(株)ジャストホーム、総合不動産業の(株)サンタ不動産と左官業の(株)オオタ、土木工事業の(有)櫻組が認定された。 ・この事実をグループのHP等で告知し、お客様や社員に対しSDGsの普及啓発や教育機会を提供している。 ・仕入先、事業パートナーで構成する「共栄会」を組織しており、定期的に開催する部会等でSDGsに関連する問題を共有し解決していくことで、普及啓発し、共に取り組んでいる。 ・職場体験、インターンシップの受け入れ等職場関連授業への協力を実施し、地域の児童や学童、学生に対して職業体験の学びの場を提供している。 ・当社会長が熊本県教育センターが企画する研修会の講師として継続して登壇している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県が実施している「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」に参画し、地元の生徒、学生を積極的に採用している。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17